

気候関連開示（公開草案） 産業別開示要求 【食品小売及び流通（FB-FR）産業編】

2022年6月

SSBJ設立準備委員会 事務局

※不許複製・禁無断転載：
公開草案の原文及び日本語仮訳は、IFRS財団の著作物となります。
複製及び使用の権利は厳しく制限されております。

- ❖ 本資料は、2022年3月31日にIFRS財団から公表されたIFRS S2号公開草案「気候関連開示」の付録B「産業別開示要求」のうち、**食品小売及び流通 (FB-FR)産業に関連する部分の概要**についてご説明することを目的としています。
- ❖ 本資料では、当該付録B「産業別開示要求」に関し、以下の事項について記載しています。
 - ▶ 産業別開示要求の構成
 - ▶ 指標の**技術的プロトコル**（定義、範囲、適用及び調製に関するガイダンス）において、「shall（～しなければならない）」「shall not（～してはならない）」と記載されている事項を**太字**で記載しています。
 - ▶ 上記以外の事項でも、当該事項に即した開示を行うに際して**特に有用であると当事務局が判断した事項**を記載しています（そのため、すべての事項について記載しているわけではありません）。
 - ▶ 産業別指標を開示するまでの流れ

本資料は、IFRS財団のホームページにおいて公表された当該付録B「産業別開示要求」の日本語仮訳をもとに、SSBJ設立準備委員会事務局が作成したものです。

本資料における意見に係る部分は、あくまでも当委員会のスタッフ個人の見解であり、当委員会の公式見解ではございません。

S2基準案の付録B「産業別開示要求」は、産業ごとに以下が記載されている

産業の説明	<ul style="list-style-type: none">❖ 関連するビジネスモデル、基礎となる経済活動、一般的なサステナビリティ関連の影響 (impacts) 及び依存関係 (dependencies)、並びに当該産業への参加に特徴的な他の共有される特徴を定義することにより、適用範囲を明確にすることを意図している
開示トピック及びトピックサマリー	<ul style="list-style-type: none">❖ 開示トピックとは、特定の産業内の企業によって行われる活動に基づいて、特定のサステナビリティ関連のリスク又は機会を定義するもの❖ 経営又は経営の失敗が企業の企業価値にどのように影響するかについての簡単な説明 (トピックサマリー) が含まれる
指標	<ul style="list-style-type: none">❖ 開示トピックに付随し、個別に又は1セットの一部として、特定の開示トピックのパフォーマンスに関する有用な情報を表示するように設計されている
技術的プロトコル	<ul style="list-style-type: none">❖ 定義、範囲、適用及び調製に関するガイダンスを提供する
活動指標	<ul style="list-style-type: none">❖ 企業による特定の活動又はオペレーションの規模を定量化するもの❖ データを正規化して比較を容易にするため、指標と組合せて使用することを意図している

**産業名
(68産業)**

衣服、装飾品及び履物

産業の説明

産業に関する記述

「衣服、装飾品及び履物」産業には、男性用、女性用及び子供用の衣類、ハンドバッグ、宝石、時計及び履物を含むさまざまな製品の設計、製造、卸売及び小売に関わる企業が含まれる。製品の大部分が新興市場のベンダーによって製造されることにより、この産業に属する企業が主として設計、卸売、販売促進、サプライ・チェーンの管理及び小売といった活動に焦点を当てることを可能にしている。

サステナビリティ開示トピック及び指標

表 1. サステナビリティ開示トピック及び指標

開示トピック

指標

トピック	指標	カテゴリー	測定単位	コード
原材料調達	優先原材料の調達に関連する環境及び社会リスクの記述	説明及び分析	該当なし	CG-AA-440a.1
	環境又は社会サステナビリティ基準（又はこの両方）の第三者認証を受けた原材料の割合（基準ごとに）	定量	重量ごとのパーセンテージ(%)	CG-AA-440a.2

「衣服、装飾品及び履物」産業は、綿、革、羊毛、ゴム、並びに貴重な鉱物及び金属など、最終製品の主要なインプットとして多数の原材料に依存している。

気候変動、土地利用、資源不足、及び当該産業のサプライ・チェーンが事業を展開する地域での紛争に関連するサステナビリティの影響(impacts)は、産業において原材料を調達する能力をこれまで以上に形成している。

潜在的な原材料不足、供給停止、価格変動及び風評リスクを管理する企業の能力は、透明性に欠けることが多いサプライ・チェーンを通じて地理的に多様な地域から原材料を調達するため、さらに困難になっている。

この問題の効果的な管理を行わないことは、**利益の減少、収益成長率の抑制又は資本コストの増加（又はこれらのすべて）につながる**可能性がある。さまざまな原材料を調達することに関連するリスクの種類に応じて、サプライヤーへの関与、透明性の向上、認証基準の使用又は革新的な代替原材料の使用（又はこれらのすべて）を含め、さまざまな解決策が必要になる可能性がある。

最も積極的な企業は、**ブランドの評判を向上させ、新しい市場機会を開拓する一方で、価格変動や潜在的な供給停止にさらされるリスクを減らす**可能性が高い。

コード： CG-AA-440a.1	指標： 優先原材料の調達に関連する環境及び社会リスクの記述	測定単位： 該当なし
1 1.1	<p>優先原材料の調達から生じる環境及び社会リスクを管理するための戦略的アプローチを説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> 優先原材料：企業の主要製品に不可欠なもの 主要製品：過去3会計年度のいずれかにおいて連結売上高の10%以上を占めたもの 	
2	企業が優先原材料をどのように識別したかに関する方法を含める	
4	優先原材料は、当該原材料を直接購入したか、サプライヤーを通じて購入したかに関わらず開示する	
7	<p>綿花を優先原材料の一つとして識別した場合、以下を説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> 水ストレスのある綿花栽培地域に対する脆弱性 これらの地域から綿花を調達することによる価格変動のリスクをどのように管理しているか 	

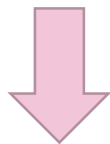
コード	活動指標	カテゴリー	測定単位
CG-AA-000.A	(1)Tier 1サプライヤーの数	定量	数
	(2)Tier 1の先のサプライヤーの数	定量	数

- Tier 1サプライヤー：報告企業と直接取引するサプライヤー
- Tier 1の先のサプライヤー：報告企業のTier 1サプライヤーにとって重要なサプライヤー

Tier 1の先のサプライヤーのデータが仮定、見積り、又は他の不確実性を含む方法に基づいているかを開示しなければならない

気候関連の産業別指標を開示するまでの流れ(1)

適切な産業の 選択



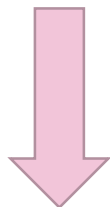
- ❖ S2基準案の付録B「産業別開示要求」B1巻からB68巻は、SASBスタンダードの「Sustainable Industry Classification System®」(SICS®)のうち、気候関連の指標がある**11セクター・68産業**で編成されている
- ❖ 企業は、単一又は複数の産業を識別しなければならない(S2基準案 B8項)
- ❖ 企業が複数の産業にまたがる可能性が高い、幅広い活動に参加している場合、複数の産業別要求事項を適用する必要がある可能性がある(S2基準案 B9項)

重大なリスク 及び機会の識別



- ❖ 企業は、企業がさらされている**重大な (significant) 気候関連のリスク及び機会**を識別し、記述しなければならない(S2基準案 第9項(a))
- ❖ その際に、企業は、産業別開示要求(付録B)の中の「**開示トピック**」(特定の産業のリスク又は機会が定義されている)を参照しなければならない(S2基準案 第10項)

指標の特定



- ❖ 企業は、「戦略」に関する要求事項を満たすための開示を作成する際、産業横断的指標カテゴリー及び**開示トピックを伴う産業別指標の適用可能性**を参照し、考慮しなければならない(S2基準案 第11項)
- ❖ 一般目的財務報告の利用者が、重大な (significant) 気候関連のリスク及び機会を企業がどのように測定し、モニタリング及び管理するのかについて理解できるよう、企業は、**付録 B「産業別開示要求」**において定められている**産業別指標を開示**しなければならない(S2基準案 第19項、第20項(b))
- ❖ 企業は、企業がさらされている**気候関連のリスク及び機会**を**適正に表示する**という視点を持って、関連するフルセットの産業別要求事項を**すべて参照**しなければならない(S2基準案 B16項)

(次頁に続く)

気候関連の産業別指標を開示するまでの流れ(2)

(前頁からの続き)

指標の特定

- ❖ 定量的情報の開示に係る産業別要求事項が、産業横断的指標カテゴリー（S2基準案 第21項(a)から(e)）に関連する開示の要求事項を満たすか確認し検討しなければならない（S2基準案 付録B B15項）

産業横断的指標カテゴリー
（S2基準案 第21項）

- (a) 温室効果ガス排出
- (b) 移行リスク
- (c) 物理的リスク
- (d) 気候関連の機会
- (e) 資本投下
- (f) 内部炭素価格
- (g) 報酬

産業横断的指標カテゴリーの開示に
用いられる産業別指標の例

- (c)物理的リスク
農産物産業における、水ストレスのある地域から供給される主要作物の割合
- (d)気候関連の機会
化学製品産業における、使用段階の資源効率を考慮して設計された製品から生じた売上高

重要性
(Materiality)

- ❖ 企業は、特定された指標及び目標が企業の企業価値を評価する上で情報の利用者にとって重要性がある（material）と結論付けた場合、特定の要求事項に関連する情報を開示しなければならない（S2基準案 付録B B6項）
- ❖ IFRSサステナビリティ開示基準で要求される特定の開示に重要性がない（not material）場合には、提供する必要はない（S1基準案 第60項）

食品小売及び流通 Food Retailers & Distributors (FB-FR)

「食品小売及び流通」産業は、食品、飲料及び農産物の卸売り及び小売りに従事する企業により構成される。

店舗の形式には、小売りのスーパーマーケット、コンビニエンスストア、倉庫型のスーパーマーケット、酒店、ベーカリー、自然食品店、特殊食品店、鮮魚店及び流通センターが含まれる。

企業は、1種の店舗の形式に特化していることもあれば、複数の形式を含む施設を有していることもある。

製品は典型的には世界中から調達され、新鮮な肉及び農産物、調理済食品、加工食品、パン類、冷凍食品及び缶詰食品、清涼飲料及び酒類、並びに幅広い品揃えの家庭用用品及び個人用製品が含まれる。

トピック	コード	指標
フリート燃料管理	FB-FR-110a.1	<ul style="list-style-type: none"> フリートの燃料消費量 再生可能燃料の割合
冷媒からの大気排出	FB-FR-110b.1	<ul style="list-style-type: none"> 冷媒によるグローバルでのスコープ1 総排出
	FB-FR-110b.2	<ul style="list-style-type: none"> 消費する冷媒のうち、オゾン破壊係数ゼロのもの割合
	FB-FR-110b.3	<ul style="list-style-type: none"> 平均冷媒排出率
エネルギー管理	FB-FR-130a.1	<ul style="list-style-type: none"> (1)オペレーションによるエネルギー総消費量 (2)電力系統からの電力の割合 (3)再生可能エネルギーの割合

トピック	コード	指標
サプライ・チェーンにおける環境及び社会影響の管理	FB-FR-430a.1	<ul style="list-style-type: none"> 環境又は社会サステナビリティ基準の第三者認証を受けた製品から生じた売上高
	FB-FR-430a.2	<ul style="list-style-type: none"> (1)ケージのない環境に由来する卵から生じた売上高の割合 (2)妊娠ストールを使用せずに生産した豚肉から生じた売上高の割合
	FB-FR-430a.3	<ul style="list-style-type: none"> 動物福祉を含む、サプライ・チェーンにおける環境及び社会リスクを管理する戦略の説明
	FB-FR-430a.4	<ul style="list-style-type: none"> 包装の環境負荷を低減する戦略の説明

「食品小売及び流通」産業の企業は、フリート車両を所有及び運用して、その流通拠点と小売拠点の間で製品を配達している。

フリート車両の燃料消費は、オペレーション・コスト及び関連する資本支出の両方の観点から、重大な (significant) 産業費用である。

化石燃料の消費は、気候変動及び汚染を含む環境に影響 (impacts) を及ぼす可能性がある。

これらの環境上の影響 (impacts) は、規制にさらされることにより食品小売及び流通企業に影響を与える (affect) 可能性がある。

燃料使用において得られる効率性は、コストを削減し、化石燃料の価格変動から受ける影響を軽減し、保管及び輸送に関連するカーボン・フットプリントを制限することができる。

燃料効率の高いフリート及びよりエネルギー効率の高い技術への短期的な資本的支出よりも、長期的なオペレーション・コストの節約及び規制リスクから受ける影響の軽減が上回る場合がある。

コード： FB-FR- 110a.1	指標： (1)フリートの燃料消費量	測定単位： ギガジュール(GJ)
1	フリート車両によって消費された燃料の総量をギガジュール（GJ）単位で集計して開示する	
1.1	消費された燃料の計算方法は、実際の燃料消費量に基づく	

コード： FB-FR- 110a.1	指標： (2)再生可能燃料の割合	測定単位： パーセンテージ (%)
2	フリート車両によって消費された再生可能燃料である燃料の総量の割合を開示する	
2.1	再生可能燃料：以下の要求事項のすべてを満たす燃料と定義	
2.1.1	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能なバイオマスから生産されたもの 	
2.1.2	<ul style="list-style-type: none"> 輸送用燃料、暖房用オイル、又はジェット燃料に含まれる化石燃料の代替又は削減のために使用されるもの 	
2.1.3	<ul style="list-style-type: none"> ライフサイクル・ベースでの温室効果ガス（GHG）排出量の純減を達成したもの 	
2.2	燃料が再生可能かどうかを判断するために使用した基準又は規制を開示する	
2.3	<p>この割合は、企業のフリート車両により消費された再生可能燃料の消費量（GJ単位）について、企業のフリート車両の消費燃料の総量（GJ単位）で除して計算する</p> <p>計算式の例：フリート車両により消費された再生可能燃料の消費量 ÷ フリート車両の消費燃料の総量</p>	

コード： FB-FR- 110a.1	補足事項
3	開示の範囲には、企業が所有又は運営する車両が消費する燃料を含める
4	開示の範囲からは、第三者が企業の製品を輸送する際に消費する燃料を除外する
5	<p>燃料及びバイオ燃料からのエネルギー消費量を計算する際には、以下のいずれかに方法に基づき、総発熱量（GCV）とも呼ばれる高位発熱量（HHV）を使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> • 直接測定する方法 • 気候変動に関する政府間パネル（IPCC）から取得する方法
6	<p>この開示で報告するすべてのデータに対して、換算係数を一貫して適用する</p> <p>例：燃料使用量（バイオ燃料を含む）のHHVの使用やキロワット時（kWh）のGJへの変換</p>

生鮮食品の保管及び陳列に使用される機器からの冷媒化学物質の排出は、「食品小売及び流通」産業に特有の規制リスクをもたらす。

ハイドロクロロフルオロカーボン類（HCFCs）に関する国際規制は、HCFCs による地球のオゾン層への被害を軽減することを目的としている。

さらに、多くの一般的な HCFCs 及びハイドロフルオロカーボン類（HFCs）は非常に強力な温室効果ガス（GHG）であり、気候変動関連の規制によりこの産業が影響を受ける可能性を高めている。

規制当局は排出基準に違反する企業への罰則を科すことができる一方、企業は設備の性能向上（upgrade）又は交換を求められ、設備投資を必要とし、排出量を削減するか、又は既存の冷媒を、よりコストがかかる可能性はあるが環境への影響は少ない代替冷媒に置き換えることを要求される場合がある。

コード： FB-FR- 110b.1	指標： 冷媒によるグローバルでのスコープ1総排出	測定単位： CO ₂ 換算メートルトン(t)
1	<p>京都議定書において対象とされる 7 種類の温室効果ガス (GHG) のグローバルでのスコープ 1 の温室効果ガス (GHG) の大気への総排出を開示する</p> <p>※7 種類の温室効果ガス：二酸化炭素 (CO₂)、メタン (CH₄)、一酸化二窒素 (N₂O)、ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)、パーフルオロカーボン類 (PFCs)、六フッ化硫黄 (SF₆)、三フッ化窒素 (NF₃)</p>	
1.1	<p>すべてのGHG排出は、CO₂換算メートルトン単位で合算して開示する</p> <p>公開されている 100年間の時間軸の地球温暖化係数 (GWP: global warming potential) の値に従って計算する</p>	
1.2	<p>総排出：オフセット、クレジット又はその他の類似した排出削減若しくは排出補償のメカニズムを考慮する前の、大気中に排出されたGHG</p>	
2	<p>スコープ 1 排出は、世界資源研究所 (WRI) 及び持続可能な開発のための世界経済人会議 (WBCSD) によって公表された「温室効果ガスプロトコル：企業会計及び報告基準 (GHG プロトコル)、2004 年 3 月改訂版」に従って計算する</p>	
2.4	<p>GHG排出データは、報告企業が財務報告データを連結する方法に従って連結及び開示する</p>	
4	<p>現在の CDP又は他の企業への GHG 排出の報告方法 (例：国の規制上の開示プログラム) が、範囲及び使用した連結アプローチの点で異なる場合、企業はそれらの排出を開示する場合がある</p> <p>その場合であっても、主要な開示は上述のガイドラインに従う</p>	

コード： FB-FR- 110b.2	指標： 消費する冷媒のうち、オゾン破壊係数ゼロのものの割合	測定単位： 重量のパーセンテージ (%)
1	オゾン破壊係数 (ODP) がゼロの、オペレーションで消費される冷媒の割合を開示する	
1.1	ODP : 物質によって引き起こされるオゾン層破壊の量として定義 オゾン層破壊 : 自然反応を超えた成層圏オゾン層の化学的破壊と定義	
1.2	ODP がゼロの冷媒の定義は以下のとおり： <ul style="list-style-type: none"> • 公表された ODP 値がゼロ • 自然反応を超えて成層圏オゾン層に影響 (impact) を与えない • クロロフルオロカーボン類 (CFCs)、ハイドロクロロフルオロカーボン類 (HCFCs)、ハロン、臭化メチル、四塩化炭素、ハイドロブロモフルオロカーボン類、クロロブロモメタン、又はメチルクロロホルムを含まない物質 	
2	モントリオール議定書に基づいてオゾン層破壊物質 (ODS) として認識されている化合物のリスト及びそれぞれの ODP は、国際連合のウェブサイト「オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書」から入手できる	
2.1	冷媒の消費量 : 報告期間中に企業の商用冷却装置に充填した冷媒の量と定義	
2.2	この割合は、ODP がゼロの企業のオペレーションで消費する冷媒の量 (重量ベース) について、企業のオペレーションで消費する冷媒の総量 (重量ベース) で除して計算する	

コード : FB-FR- 110b.3	指標 : 平均冷媒排出率	測定単位 : パーセンテージ(%)
1	平均冷媒排出率をパーセンテージで開示する	
1.1	冷媒排出率：商用冷却装置又はシステムからの冷媒損失率と定義	
1.2	報告期間中に排出された冷媒の総量（ポンド単位）について、報告期間中に商用冷却装置に充填された冷媒の総重量（ポンド単位）で除して、平均冷媒排出率を計算する	

「食品小売及び流通」施設は、通常、他のタイプの商業スペースよりもエネルギー集約型である。

エネルギーは主に、冷蔵、暖房、換気、及び空調（HVAC）並びに照明に使用される。

この産業の企業は通常、消費電力の大部分を購入するが、一部の企業は現場でエネルギーを生成し始めたり、再生可能エネルギーをエネルギーミックスに追加し始めたりしている。

エネルギーの生産と消費は、気候変動や汚染などの環境に影響を及ぼす（impacts）。

これらは、間接的ではあるが、食品小売及び流通業者の業務に重大な（materially）影響（impact）を与える可能性がある。

効率の向上及び代替エネルギー源の使用を通じて全体的なエネルギー使用を管理する企業は、費用を削減してリスクを低減することにより、収益性を向上させることができる。

コード： FB-FR- 130a.1	指標： (1)オペレーションによるエネルギー総消費量	測定単位： ギガジュール(GJ)
1	消費したエネルギーの総量をギガジュール (GJ) 単位で集計して開示する (フリート車両は除く)	
1.1	すべての供給源からのエネルギーを含める <ul style="list-style-type: none"> • 企業の外部の供給源から購入したエネルギー • 企業が自ら生産した (自己生成の) エネルギー 	
1.2	報告期間中に企業が直接消費したエネルギーのみを含める	
1.3	燃料及びバイオ燃料からのエネルギー消費量を計算する際には、以下のいずれかに方法に基づき、総発熱量 (GCV) とも呼ばれる高位発熱量 (HHV) を使用する <ul style="list-style-type: none"> • 直接測定する方法 • 気候変動に関する政府間パネル (IPCC) から取得する方法 	

コード： FB-FR- 130a.1	指標： (2)電力系統からの電力の割合	測定単位： パーセンテージ (%)
2	消費した、電力系統から供給されたエネルギーの割合を開示する (フリート車両は除く)	
2.1	この割合は、購入した電力系統からの電力の消費量について、エネルギー総消費量で除して計算する 計算式の例：購入した電力系統からの電力の消費量 ÷ エネルギー総消費量	

コード： FB-FR- 130a.1	指標： (3)再生可能エネルギーの割合	測定単位： パーセンテージ (%)
3	消費した再生可能エネルギーの割合を開示する (フリート車両は除く)	
3.1	再生可能エネルギー：枯渇率以上のペースで補充されるエネルギー源からのエネルギーと定義 (地熱、風力、太陽光、水力、バイオマス等)	
3.2	この割合は、再生可能エネルギー消費量をエネルギー総消費量で除して計算する 計算式の例：再生可能エネルギー消費量 ÷ エネルギー総消費量	
3.3	再生可能エネルギーの範囲は以下を含む： <ul style="list-style-type: none"> • 企業が消費した再生可能燃料 • 企業が直接生産した再生可能エネルギー • 企業が購入した再生可能エネルギー 	

コード： FB-FR- 130a.1	補足事項
4	<p>この開示で報告するすべてのデータに対して、換算係数を一貫して適用する</p> <p>例：燃料使用量（バイオ燃料を含む）のHHVの使用やキロワット時（kWh）のGJへの変換</p>

食品小売及び流通産業は、さまざまな製造業者から商品を調達している。

これらのサプライヤーは、資源保護、水不足、動物福祉、公正な労働慣行及び気候変動を含む、サステナビリティ関連の無数の課題に直面している。

管理が不十分な場合、これらの問題は食品の価格及び入手可能性に影響を与える（affect）可能性がある。

さらに消費者は、購入する食品に関連する製造方法、原産、及び外部性への関心をこれまで以上に高めており、このことは企業の評判に影響を与える（affect）可能性がある。

食品小売及び流通産業は、輸送コストを削減し、ブランドの評判を向上させ、環境への影響（impact）を減らすために、包装のデザインについてサプライヤーと協力することもできる。

サプライヤーを評価して関与し、サステナブルな調達ガイドラインを導入し、サプライ・チェーンの透明性を高めることにより、製品供給リスクに対処できる企業は、**サプライ・チェーンのレジリエンスを改善し、風評リスクを軽減し、潜在的な消費者需要の増加又は新しい市場機会の獲得**につながるのに適した位置にあると考えられる。

コード： FB-FR- 430a.1	指標： 環境又は社会サステナビリティ基準の第三者認証を受けた製品か ら生じた売上高	測定単位： 報告通貨
1	環境又は社会サステナビリティ基準の第三者認証を受けた製品の販売により生じた売上高を開示する	
1.1	環境基準：農産物の生産に関連する環境への影響（impacts）に対処する基準と定義 （原生林の保護、地表水及び地下水の水質の維持、及び総合的病害虫管理（IPM）による解決又はOrganic System Planの適用など）	
1.2	社会基準：農産物の生産に関連する社会への影響（impacts）に対処する基準と定義 （労働力（workforce）への報酬、農薬の使用に伴う健康及び安全のリスクに対する訓練及び継続的な監視、並びに児童労働慣行など）	

コード： FB-FR- 430a.2	指標： (1)ケージのない環境に由来する卵から生じた売上高の割合	測定単位： 収益のパーセンテージ (%)
1	(1)ケージのない環境に由来する卵の販売により生じた売上高の割合を開示する	
1.1	ケージのない環境に由来する卵は、食品及び水への無制限のアクセスが許可されており、産卵周期中にそのエリア内を自由に歩き回ることができる建物、部屋又はエリアに収容された雌鶏によって生産される	
1.2	<p>この割合は、ケージのない環境に由来する卵の販売により生じた売上高について、卵の販売により生じた総売上高で除して計算</p> <p>計算式の例：ケージのない環境に由来する卵の販売により生じた売上高 ÷ 卵の販売により生じた総売上高</p>	

コード： FB-FR- 430a.2	指標： (2)妊娠ストールを使用せずに生産した豚肉から生じた売上高の割合	測定単位： 収益のパーセンテージ (%)
2	(2)妊娠ストールを使用せずに生産した豚肉から生じた売上高の割合を開示する	
2.1	妊娠ストール：繁殖雌豚を個別に収容するための檻と定義	
2.2	<p>この割合は、妊娠ストールを使用せずに生産した豚肉から生じた売上高について、豚肉の販売により生じた総売上高で除して計算する</p> <p>計算式の例：妊娠ストールを使用せずに生産した豚肉から生じた売上高 ÷ 豚肉の販売により生じた総売上高</p>	

コード： FB-FR- 430a.3	指標： 動物福祉を含む、サプライ・チェーンにおける環境及び社会リス クを管理する戦略の説明	測定単位： 該当なし
1	食品及び食品製品のサプライ・チェーン内に存在する又は食品及び食品サプライ・チェーンか ら生じる環境及び社会リスクを管理するための戦略的アプローチについて説明する	
3	サプライ・チェーンに適用される動物福祉基準について説明する	
3.1	動物福祉基準：牛肉、豚肉、家禽又は乳製品（又はこれらの複数のもの）の生産条件のポリ シーとして定義	
3.2	説明には以下を含めるが、これらに限定されない	
3.2.1	<ul style="list-style-type: none"> 動物福祉基準に関連して企業が設定しているすべての目標及びこれらの目標の進捗状況 	
3.2.2	<ul style="list-style-type: none"> 動物福祉基準に関連するサプライヤーについての要求事項 	
3.2.3	<ul style="list-style-type: none"> 何らかの方法で対処されるのであれば、動物福祉基準がサプライヤー契約でどのように対 処されるか 	
4	利用している動物福祉の認証を記述する	

コード： FB-FR- 430a.4	指標： 包装の環境負荷を低減する戦略の説明	測定単位： 該当なし
1	特定の用途に対する包装の重量及び体積の最適化、又は再生可能な、リサイクルされた、リサイクル可能な、若しくは堆肥化可能なものを含む代替材料の使用など、包装の環境への影響を減らすための戦略を説明する	

コード	活動指標	カテゴリー	測定単位
FB-FR-000.A	(1)小売拠点及び(2)流通センターの数	定量	数
FB-FR-000.B	(1)小売スペース及び(2)流通センターの総面積	定量	平方メートル(m ²)
FB-FR-000.C	商用フリートの車両数	定量	数
FB-FR-000.D	走行トンマイル	定量	トンマイル

